

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-128032

(43)Date of publication of application : 25.05.1993

(51)Int.Cl. G06F 13/00
G06F 15/16

(21)Application number : 03-291156

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO
LTD

(22)Date of filing : 07.11.1991

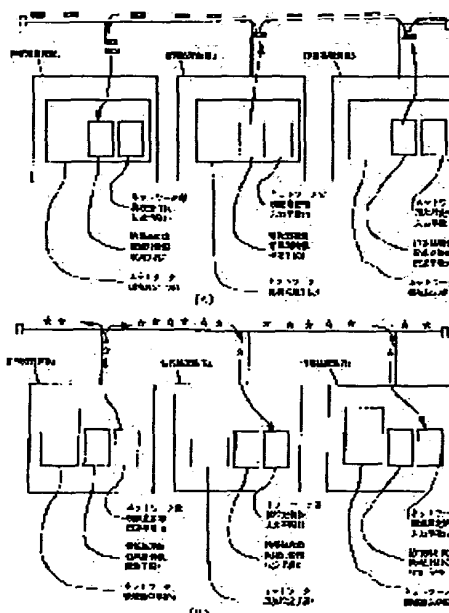
(72)Inventor : KUDO NOBUYUKI

(54) METHOD FOR AUTOMATICALLY SETTING UP NETWORK ENVIRONMENT IN
INFORMATION PROCESSING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide an automatic network environment set-up method which can automatically set up without requiring expert knowledge or executing complicated key operation in an information processing system.

CONSTITUTION: This information processing system is constituted of an information processor 1 provided with a network environment setting means 4 having an information processor identification(ID) information collecting means 7 and a network environment setting information transmitting means 10 and plural information processors provided with network environment setting means 5 having information processor ID information transmitting means 8 and network environment setting information inputting means 11.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-128032

(43)公開日 平成5年(1993)5月25日

(51)Int.Cl.⁵ G 0 6 F 13/00 15/16 識別記号 3 5 5 4 0 0 D 庁内整理番号 7368-5B 9190-5L F I 技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-291156

(22)出願日 平成3年(1991)11月7日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 工藤 信幸

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

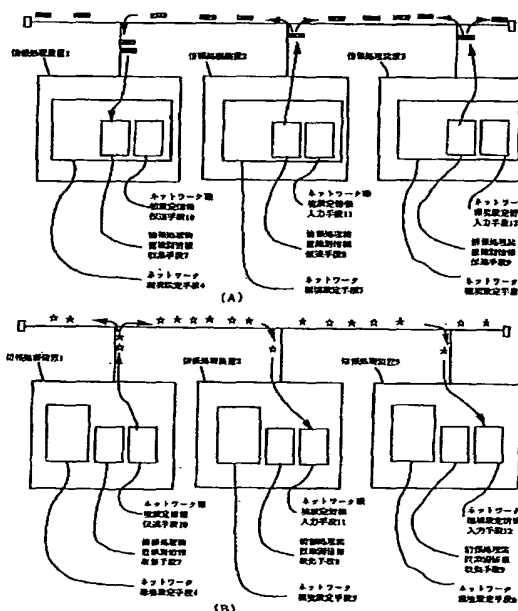
(74)代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 情報処理システムにおけるネットワーク環境自動生成方法

(57)【要約】

【目的】 自動化を図り専門的な知識や煩雑なキー操作を行なうことなく設定できる情報処理システムにおけるネットワーク環境自動生成方法の提供を目的とする。

【構成】 情報処理装置識別情報収集手段7とネットワーク環境設定情報伝達手段10を有するネットワーク環境設定手段4を持つ1台の情報処理装置1と、情報処理装置識別情報伝達手段8とネットワーク環境設定情報入力手段11を有するネットワーク環境設定手段5を持つ複数台の情報処理装置から構成される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報処理装置識別情報収集手段とネットワーク環境設定情報伝達手段を有するネットワーク環境設定手段を持つ1台の情報処理装置と、情報処理装置識別情報伝達手段とネットワーク環境設定情報入力手段を有するネットワーク環境設定手段を持つ複数台の情報処理装置を備え、前記各情報処理装置からの前記ネットワーク環境設定手段の起動のみでネットワーク環境の生成を行なうようにした情報処理システムにおけるネットワーク環境自動生成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は情報処理システムに関し、特に複数台の情報処理装置をネットワークに接続して運用する情報処理システムにおけるネットワーク環境自動生成方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 情報処理装置の性能が飛躍的に高まった現在、1台の巨大な情報処理装置を利用するより複数の安価で高性能の小型の情報処理装置をネットワークで有機的に結合し利用しようという動きが高まってきた。このような状況においてネットワーク環境の設定に関しては一部入力手段を簡易化した情報処理装置はあるもののキー入力为主であり、また設定にあたってはネットワークに関する知識が必要であり、したがって設定は一部のシステム管理者に任せられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来の技術ではネットワーク環境の設定に関して専門的な知識を要し、また、設定もほとんどがキー入力を中心とした手作業であるため情報処理装置に関する知識がほとんど無いエンドユーザにおいてはネットワーク環境の設定が行えないという問題点を有していた。

【0004】 本発明は上記問題点を解決するもので、各情報処理装置から容易にネットワークが設定できる情報処理システムにおけるネットワーク環境自動生成方法の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記目的を達成するため、情報処理装置識別情報収集手段とネットワーク環境設定情報伝達手段を有するネットワーク環境設定手段を持つ1台の情報処理装置と、情報処理装置識別情報伝達手段とネットワーク環境設定情報入力手段を有するネットワーク環境設定手段を持つ複数台の情報処理装置を備えた構成を有する。

【0006】

【作用】 本発明は上記した構成によって、各情報処理装置からネットワーク環境設定手段を起動するのみでネットワークが設定できる。

【0007】

【実施例】 以下に図面を参照しながら本発明の実施例を説明する。

【0008】 図1は本発明の一実施例を示す概略図である。情報処理装置1、情報処理装置2、情報処理装置3はネットワークに接続されている。ここで、情報処理装置1を親、情報処理装置2および情報処理装置3を子と定義し、各々の情報処理装置上でネットワーク環境設定手段4、ネットワーク環境設定手段5、ネットワーク環境設定手段6を起動する。図2は親と定義した情報処理装置上で起動されたネットワーク環境設定手段と子と定義された情報処理装置上で起動されたネットワーク環境設定手段の動作フローである。ネットワーク環境設定手段4は親として起動されたことによって、情報処理装置識別情報収集手段7を起動し子の情報処理装置上で起動されたネットワーク環境設定手段から起動された情報処理装置識別情報伝達手段が同報通信を用いてネットワーク上に流す情報処理装置識別情報を持つ。ネットワーク環境設定手段5、ネットワーク環境設定手段6は子として起動されたことによって、情報処理装置識別情報伝達手段8、情報処理装置識別情報伝達手段9を起動し、同報通信を用いてネットワーク上に情報処理装置識別情報を流す。また、ネットワーク環境設定情報入力手段11、ネットワーク環境設定情報入力手段12を起動し親の情報処理装置上のネットワーク環境設定手段4が流すネットワーク環境設定情報を持つ。情報処理装置識別情報収集手段7は順次、情報処理装置識別情報を入力しユニークな物のみを収集していく。そして、あらかじめ与えられている子の情報処理装置台数と収集した情報の個数が一致しているかどうかを確認する。個数が一致したらすべての子の情報処理装置の情報処理装置識別情報が収集できたと認識しネットワーク環境設定手段4に通知する。ネットワーク環境設定手段4は子の情報処理装置台数に数だけネットワーク環境設定情報を作成し、図3に示すように先頭に各々の情報処理装置に対応する情報処理装置識別情報を付加した形のデータを作成する。そして、ネットワーク環境設定情報伝達手段10を起動する。ネットワーク環境設定情報伝達手段10は同報通信を用いてネットワーク環境設定手段4が作成したネットワーク環境設定情報をネットワーク上に流す。ネットワーク環境設定情報入力手段11、ネットワーク環境設定情報入力手段12は入力したネットワーク環境設定情報の先頭をチェックし、自分に対応する情報処理装置識別情報を持ったデータのみを入力する。入力が終わるとネットワーク環境設定情報入力手段11、ネットワーク環境設定情報入力手段12は入力したことを各々ネットワーク環境設定手段5、ネットワーク環境設定手段6に通知する。通知されたネットワーク環境設定手段5、ネットワーク環境設定手段6は情報処理装置識別情報伝達手段8、情報処理装置識別情報伝達手段9を終了させ、入力したネットワーク環境設定情報を基に情報処理装置内に

ネットワーク環境を生成した後自分も終了する。

【0009】情報処理装置識別情報収集手段7は情報処理装置識別情報の入力が無くなるとネットワーク環境設定手段4に通知する。通知が受けたネットワーク環境設定手段4は情報処理装置識別情報収集手段7を終了させ、自分も終了する。

【0010】このように本発明の実施例の情報処理システムにおけるネットワーク環境自動生成方法によれば、情報処理装置識別情報収集手段とネットワーク環境設定情報伝達手段を有するネットワーク環境設定手段を持つ1台の情報処理装置と、情報処理装置識別情報伝達手段とネットワーク環境設定情報入力手段を有するネットワーク環境設定手段を持つ複数台の情報処理装置を備えた構成を有するので、ネットワーク環境設定手段を起動するのみで、容易にネットワークが設定できる。

【0011】

【発明の効果】以上の実施例から明らかなように本発明によると、情報処理装置におけるネットワーク環境の設定において、自動化を図ることができ、これによって専門的な知識や煩雑なキー操作が不要となるためエンドユーザでも容易にネットワークの設定ができる情報処理シ

ステムにおけるネットワーク環境自動生成方法を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の情報処理システムにおける

05 ネットワーク環境自動生成方法を示す概略図

【図2】本発明の処理の流れを示したフロー図

【図3】ネットワーク上を流れるネットワーク環境設定情報の仕様を示す模式図

【符号の説明】

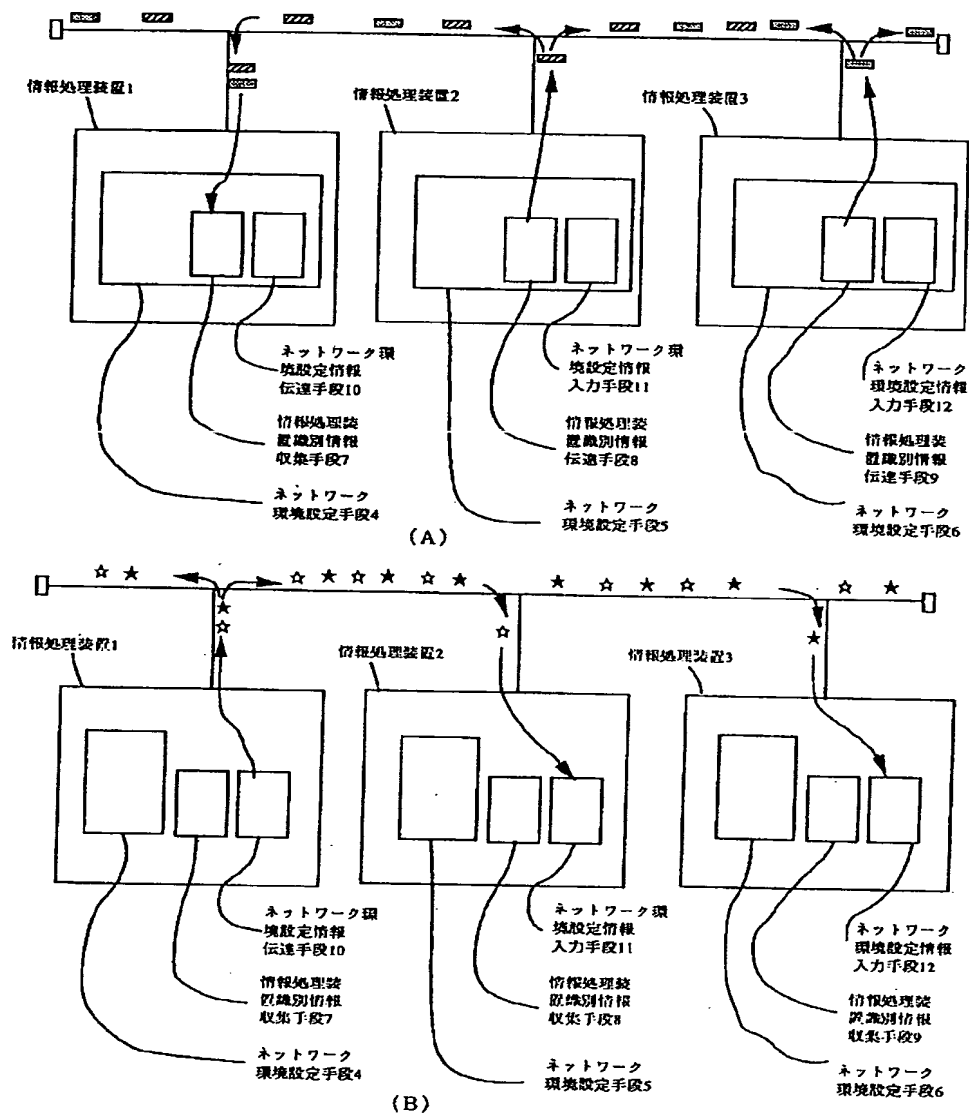
- | | | |
|----|----|------------------|
| 10 | 1 | 情報処理装置 |
| | 2 | 情報処理装置 |
| | 3 | 情報処理装置 |
| | 4 | ネットワーク環境設定手段 |
| | 5 | ネットワーク環境設定手段 |
| 15 | 6 | ネットワーク環境設定手段 |
| | 7 | 情報処理装置識別情報収集手段 |
| | 8 | 情報処理装置識別情報伝達手段 |
| | 9 | 情報処理装置識別情報伝達手段 |
| | 10 | ネットワーク環境設定情報伝達手段 |
| 20 | 11 | ネットワーク環境設定情報入力手段 |
| | 12 | ネットワーク環境設定情報入力手段 |

【図3】

情報処理装置1の 情報処理装置識別情報	情報処理装置1の ネットワーク環境設定情報
------------------------	--------------------------

情報処理装置2の 情報処理装置識別情報	情報処理装置2の ネットワーク環境設定情報
------------------------	--------------------------

【図1】



【図2】

